

学校教育課長の仕事宣言！

学校教育課長 柴田 昌範

1 基本姿勢

鳥栖市教育委員会では、平成25年4月に鳥栖市教育プランを策定しました。その中で、めざす子ども像を『ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、よりよい社会の形成者としての資質能力をもった鳥栖っ子』として、鳥栖市の次世代を担う児童生徒一人一人に学力の向上、豊かな心、健やかな体の3つを育成するように努めています。

各学校では、児童生徒や地域の特性など実態に応じた学校経営に努め、特色ある学校づくりを行い、基礎・基本の重視、個性を生かす教育の充実、豊かな人間性を培う心の教育の充実等に取り組んでいます。また、教科指導だけでなく、ICT利活用教育、生徒指導、教育相談、特別支援教育等に関する研修会の実施により、教職員の資質向上にも努めています。

しかし、近年、学校を取り巻く社会的、家庭的な環境が大きく変化し、不登校やいじめ問題、問題行動等の増加、学習意欲の低下など様々な課題があり、学校現場に求められる要望や課題は多くなっており、学校現場では日々、その対応に追われている状況にあります。

また、鳥栖市では、学力面、生徒指導面、人間関係等の不安から、市立中学校以外へ進学を希望する児童生徒の割合が高く、そのことが学校経営を難しくする要因の一つとなっています。

そのため、これまで以上に学力向上はもちろん、いじめ防止、不登校解消等を含めた生徒指導上の課題解決や教職員の資質向上を図り、市立中学校への不安を解消し、魅力ある学校づくりを進めることが、大きな課題であると考えています。

2 重点事業（リープロ11）の概要

5 未来を創る人を育てるプロジェクト

⑦特色ある学校づくりを進めます。

現在、市内小中学校の教育現場では、少人数指導やきめ細やかな指導の充実を図るための教員の配置、教職員の研修の充実、ICT利活用教育推進のための環境整備、体験活動や地域の歴史・文化を活かした教育の充実などを進め、確かな学力を育む特色ある学校づくりを進めています。

また、一方で、児童生徒の問題行動、不登校、いじめへの対応も求められている中、命の尊さや思いやりの心の育成など、豊かな心を育む教育の充実も進めています。

今年度も、鳥栖市では、いじめ防止・撲滅・早期発見・早期解決のため「いじめ・いのちを考える日」に集会を実施したり、子どもたちにアンケート調査を実施したりします。その他、全家庭にいじめ防止のためのパンフレットを配布するなどして、家庭や地域への協力を求め、学校と家庭、地域社会が一体となり、いじめ発生の防止に取り組んでいきます。

また、鳥栖市では、市立中学校以外への進学を希望する児童生徒の割合が高いため、市立中学校をさらに魅力や特色のある学校にすることが大切です。そこで、学力の向上はもとより、言語力（国語力、英会話力、コミュニケーション力）や表現力を育成し、自ら課題を解決していく力・自ら学ぶ意欲や態度・豊かな人間性や社会性などの生きる力を身につけるために、教科「日本語」を核とした小中一貫教育を行い、一人一人のよさや可能性を引き出す教育を推進していきます。

また、様々な生徒指導上の課題解決や課題を抱える児童生徒・保護者の支援のために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールサポーター、心の電話相談員等の配置や、学校適応指導教室の活用を継続して行ったり、道徳教育の充実、健康教育の充実を図ったりして、児童生徒の豊かな心、健全な体を育む教育の充実を進めます。

3 重点事業（リープロ 11）の取組み

〔具体的取組名〕

○特色ある学校づくりを進めます。

〔5年後の姿〕

○子どもたちが明るく豊かな心を持ち、楽しく学校に通い、意欲的に学んで、義務教育を修了するにふさわしい学力と社会性を身に付けている。

〔目標値〕

- 教科「日本語」を核とした小中一貫教育を推進している学校数 12/12校 100%
- TV一体型電子黒板を授業中に活用できる教師の割合 100%
- 選択制弁当給食を継続した場合の注文率 60%以上(H26年度の平均注文率 約42%)
- 学校評議員会を5回以上開催した学校 (現状値9校) 12校

〔取組を達成するための事業〕

- ①小中一貫教育及び教科「日本語」の推進事業：〔事業内容〕平成23年3月策定した「鳥栖市小中一貫教育基本計画」に基づき、小中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組む。また、各中学校区の取組に加えて、教科「日本語」を今年度から全市立小中学校で実施する。
- ②ICT利活用教育推進事業：〔事業内容〕小中学校へのICT機器(TV一体型電子黒板)を導入し、デジタル教科書やインターネットを利用した授業を可能とすることで、より分かりやすい授業を行い、学力向上に努める。
- ③中学校給食の検討事業：〔事業内容〕アンケート結果をもとに、中学校給食の今後の在り方について検討し、中長期的な計画を立てる。
- ④学校評議員配置事業：各小中学校に学校評議員会を設置し、評議員の方々の意見や要望等を生かして、学校運営の改善を行う。

〔3年間のスケジュール〕

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小中一貫推進及び教科「日本語」の推進事業	鳥栖中校区研究発表会の実施及び基里中校区への研究委嘱。	基里中校区研究発表会の実施及び田代中校区への研究委嘱。	田代中校区研究発表会の実施及び鳥栖西中校区への研究委嘱。
ICT利活用教育推進事業	市内全小学校全普通教室への電子黒板配置とデジタル教材の活用。	デジタル教材の積極的な活用。	デジタル教材活用の推進及び無線LAN環境整備検討。
中学校給食の検討事業	平成26年度に実施したアンケート結果をもとに今後の方向性を決定。	平成27年度以降については、今年度中の決定に基づき計画及び実行予定。	
学校評議員配置事業	12校配置 5回以上実施100%	12校配置 5回以上実施100% コミュニティースクール導入についての検討。	12校配置 5回以上実施100% コミュニティースクールの導入計画作成。

[事業名：小中一貫推進及び教科「日本語」の推進事業 H27年度スケジュール]

第1四半期	鳥栖中学校区3校への指導助言及び支援。
第2四半期	コーディネーター研修会及び全職員対象の教科「日本語」講演会の実施。
第3四半期	鳥栖中校区小中一貫教育研究発表会の実施。
第4四半期	基里中学校区への研究支援。日本語コーディネーター研修会の実施。

[事業名：ICT利活用教育推進 H27年度スケジュール]

第1四半期	情報推進リーダー研修会の実施及び機種選定。
第2四半期	TV一体型電子黒板の全小中学校普通教室への整備終了。
第3四半期	各学校別に研究授業及び研修会の実施。
第4四半期	市内中学校教職員へのアンケート実施及び次年度デジタル教科書整備の計画。

[事業名：中学校給食の検討事業： H27年度スケジュール]

第1四半期	平成26年度実施のアンケート調査結果分析及びPTAや学校長との意見交換等。
第2四半期	PTAや学校長及び定例教育委員会での協議。
第3四半期	現在の選択制弁当給食の課題の整理及び今後の方向性についての決定。
第4四半期	決定にもとづく中長期的な計画の策定。

[事業名：学校評議員配置事業： H27年度スケジュール]

第1四半期	校長、教頭への周知。学校評議員会の開催。
第2四半期	教育委員会で平成26年度分の実施報告。 学校評議員会の開催
第3四半期	学校評議員会の開催。各学校の開催状況の把握。
第4四半期	学校評議員会の開催。各学校からの実施報告書提出。

お問い合わせ

学校教育課 (TEL 0942-85-3520 / E-Mail gakko@city.tosu.lg.jp)